

東北の郷土芸能で、東京2020大会を応援！ 「東北応援パフォーマンス ～都民がおどる東北郷土芸能～」 11月16日（木）OOTEMORI（大手町）にて披露

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）では、東京都と共に2020年に向けてさまざまな文化・芸術の魅力を発信する事業を展開しています。今回、2017年11月16日（木）、11月17日（金）に開催される企業合同物産展「大手町・丸の内JAPAN市 東北復興編」と連携し、11月16日（木）17時から18時にかけて、大手町駅直結のOOTEMORIを舞台に、東京都内で活躍する、中野七頭舞（なかのななずまい／岩手県）、西馬音内盆踊り（にしもないぼんおどり／秋田県）、じゃんがら念仏踊り（じゃんがらねんぶつおどり／福島県）の3団体による東北の伝統芸能を披露いたします。

大手町から東北のお祭り・文化の魅力を発信し、東北の復興を応援するとともに、東京2020大会に向けて気運を盛り上げてまいります。

実施概要 ※入場無料、事前申込不要

プログラム名：東北応援パフォーマンス ～都民がおどる東北郷土芸能～

日時：2017年11月16日（木）17:00～18:00

場所：OOTEMORI 地下2階（みずほフィナンシャルグループ本社）

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

出演団体



【中野七頭舞（なかのななずまい／岩手県）】

一の会（小平市）

岩手県岩泉町中野地区に伝わる郷土芸能を披露します。中野地区は東日本大震災と昨年の岩手豪雨で甚大な被害を受けましたが、全国からの支援を受けて復活しました。中野七頭舞は、2人一組で7種類の道具・役割を演じ、五穀豊穡・家内安全・大漁などを祈願しながら踊るものです。一の会は、そのような中野七頭舞が大好きな人達が集まり、保存会から直接学びながら活動している団体です。



【西馬音内盆踊り（にしもないぼんおどり／秋田県）】

西馬音内盆踊り愛好会（目黒区）

流麗優雅な踊りで知られ、女の踊り手の衣装は、端布を縫い合わせた風雅な着物や浴衣に白足袋、編み笠や彦三頭巾（黒頭巾）を冠り、顔を見せないようにしています。これは、盆に精霊とともに踊るといふ供養踊の伝承の面影を伝えています。日本三大盆踊りの一つで国が定める重要無形民俗文化財に指定されています。団体は、主に東京の目黒区や豊島区で活動しています。



【じゃんがら念仏踊り（じゃんがらねんぶつおどり／福島県）】

小名浜じゃんがら踊友会東京支部（葛飾区）

いわき市周辺町村に伝わる郷土芸能で、若者達を中心となり約110の団体が活発に活動しています。お盆の供養の踊りで、新盆を迎えた家々をまわり、唄をうたい、太鼓や鉦をならし、亡くなった人の霊を慰めます。団体は、東京在住の小名浜出身者を中心に組織され、都内イベント等に積極的に参加しています。

企業合同物産展「大手町・丸の内JAPAN市 東北復興編」とは

東北経済連合会、東京都、東北絆まつり実行委員会、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会が、オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成や、地域経済の活性化に繋げるために、東北の文化・伝統芸能を発信する催しです。

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 オリンピック・パラリンピック文化戦略担当：石綿、角南
TEL:03-6256-8433 E-mail:bp-josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリース、掲載に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京 広報担当：森（隆）、圓城寺
TEL:03-6256-8432 E-mail:press@artscouncil-tokyo.jp